

# 生殖補助医療法案に 関する要望

動画  
(15分)



要望Ⅰ

提供精子の医療を、  
人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

要望Ⅱ

生まれる子どもが、  
自分の出自に向き合える環境の整備



## 当院の紹介

### ■ はらメディカルクリニック

院長：宮崎 薫（医学博士、2004 年慶應義塾大学医学部卒業）

開業：1993年、今年30年目

認可：日本産科婦人科学会から提供精子の人工授精(AID)の認可取得

住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-10

電話：03-3356-4211

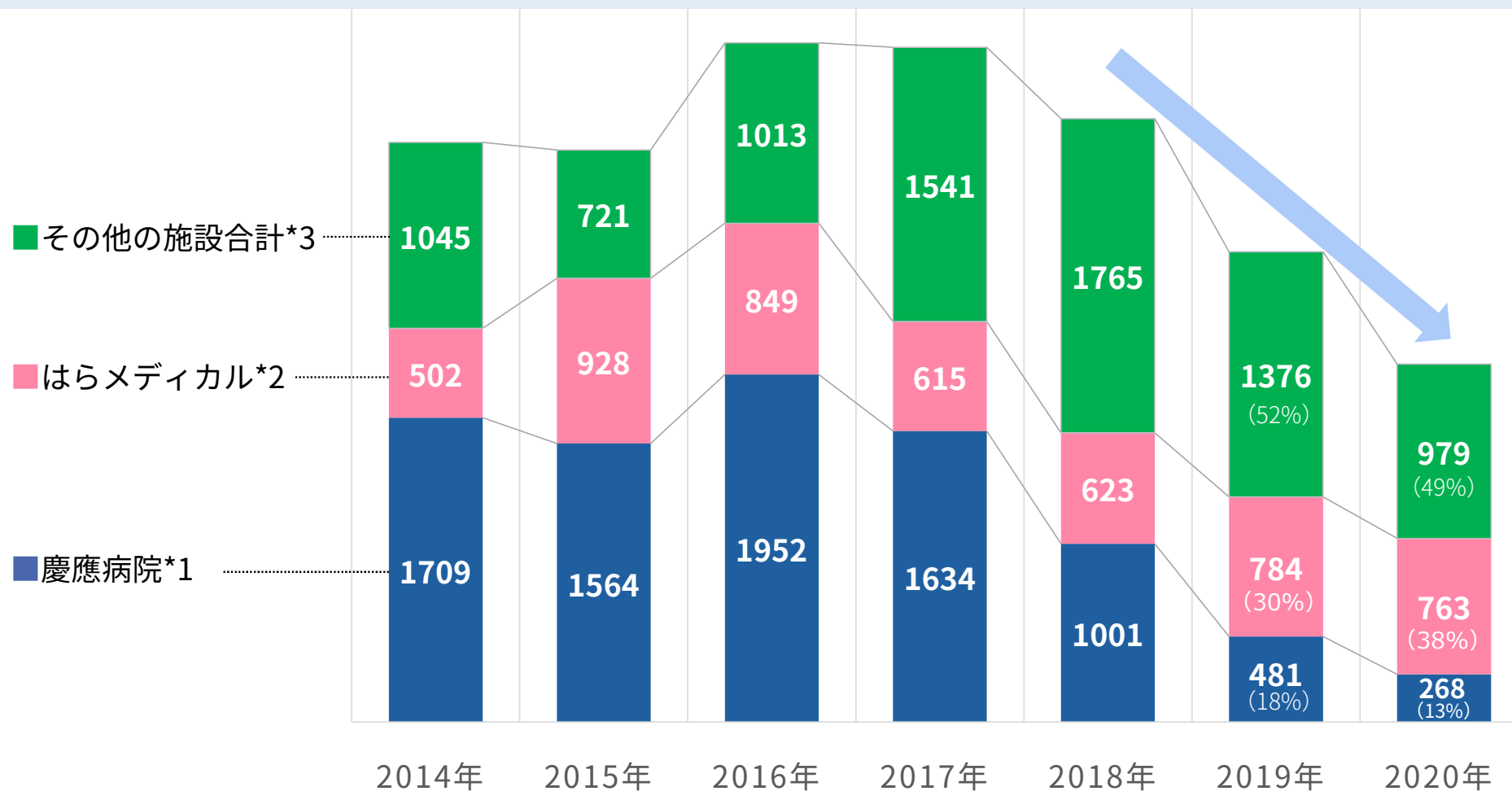
### ■ 治療の実績

#### ▼ 2021年治療周期数

|              |       |
|--------------|-------|
| 体外受精－採卵      | 1127件 |
| 体外受精－胚移植     | 1114件 |
| 配偶者間人工授精AIH  | 452件  |
| 提供精子の人工授精AID | 856件  |
| タイミング法       | 558件  |

日本国内における、  
提供精子の人工授精(AID)の  
3～4割を当院で実施

## 提供精子の人工授精（AID）の国内実施件数の推移

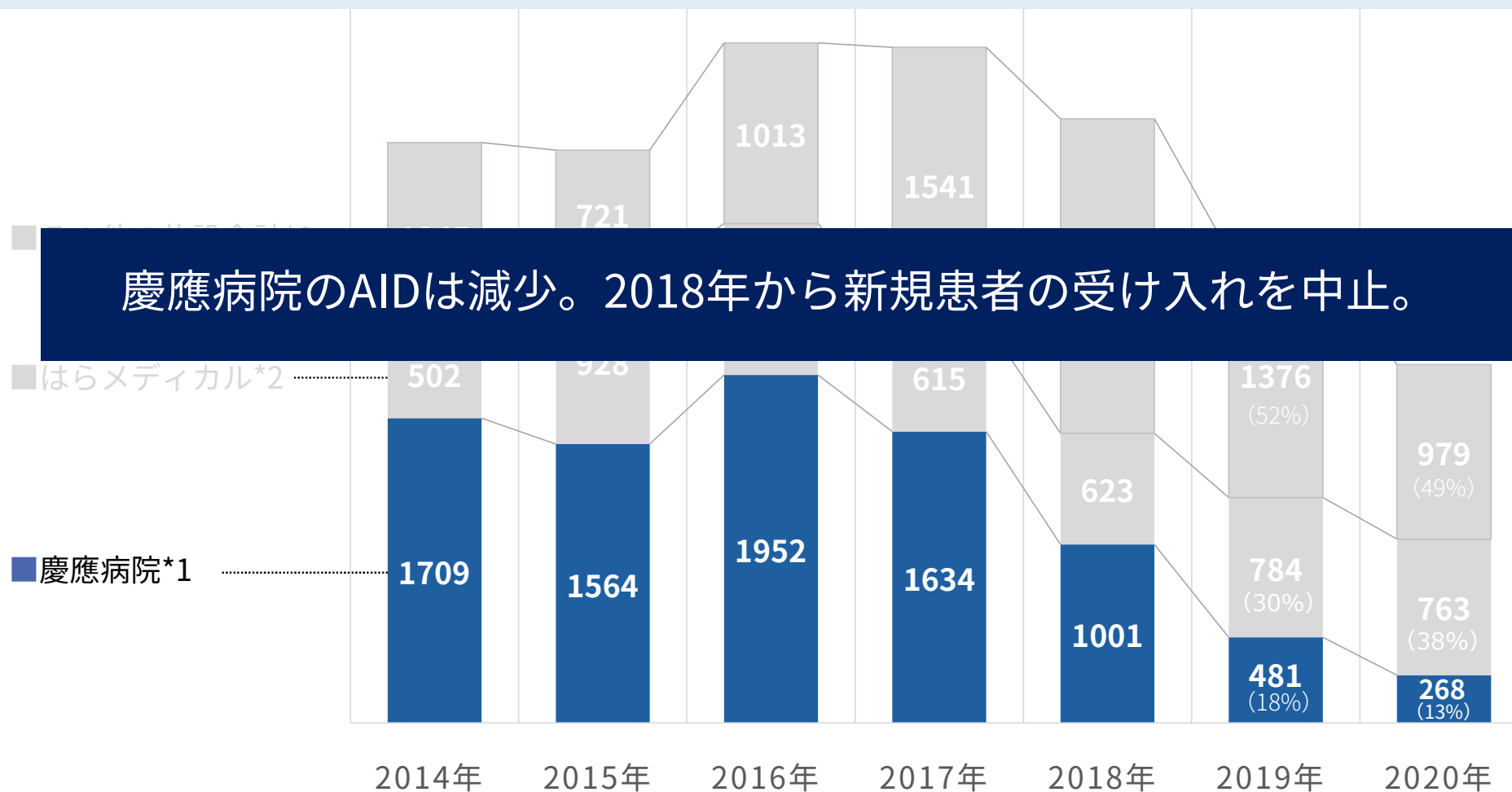


\*1 TBS報道特集放映内の慶應インタビュー時使用資料より \*2 当院実績

\*3 日本産科婦人科学会機関紙掲載治療成績より

[https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content\\_id=12](https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=12)

## 提供精子の人工授精（AID）の国内実施件数の推移

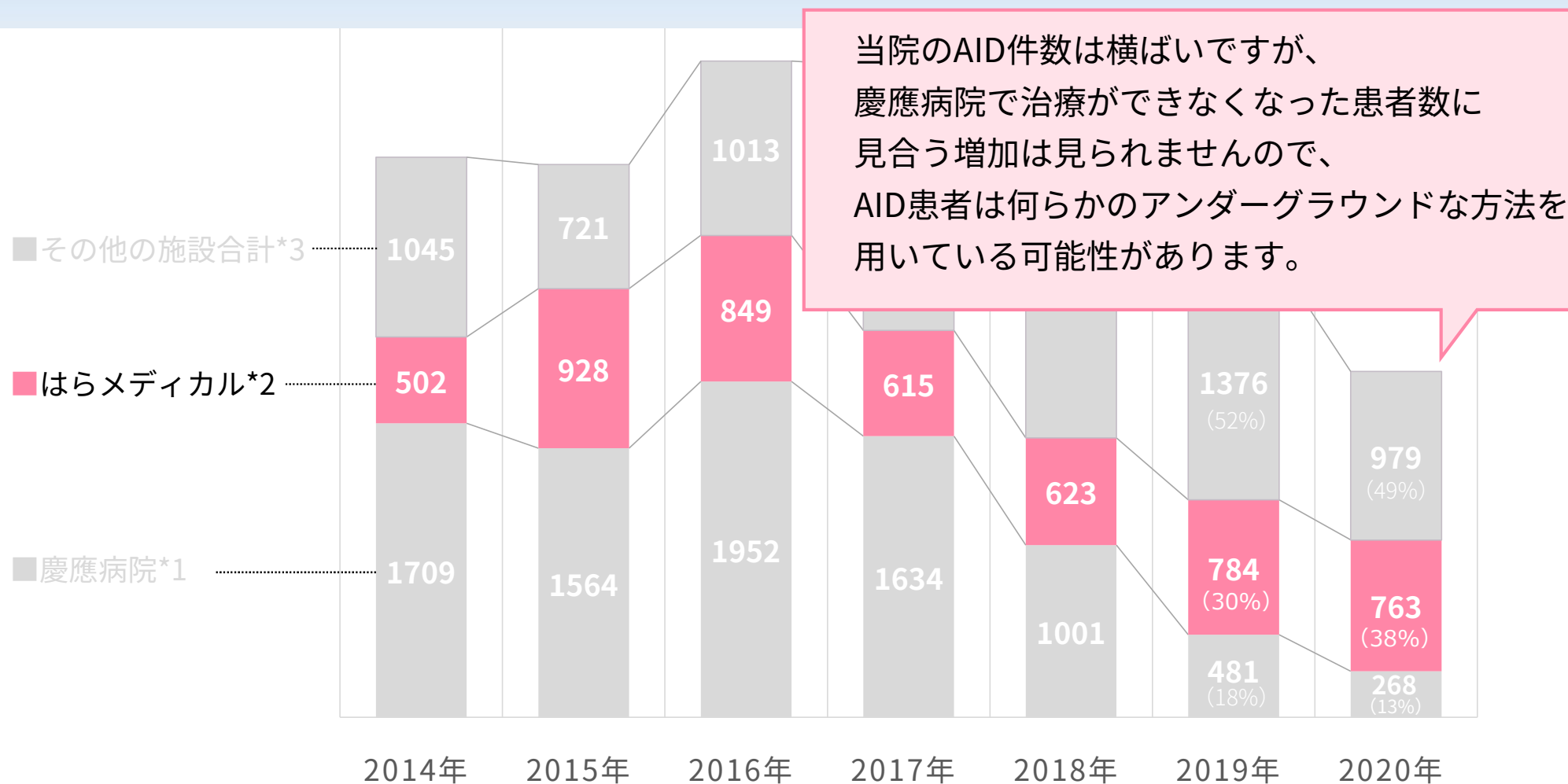


\*1 TBS報道特集放映内の慶應インタビュー時使用資料より \*2 当院実績

\*3 日本産科婦人科学会機関紙掲載治療成績より

[https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content\\_id=12](https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=12)

## 提供精子の人工授精（AID）の国内実施件数の推移



\*1 TBS報道特集放映内の慶應インタビュー時使用資料より \*2 当院実績

\*3 日本産科婦人科学会機関紙掲載治療成績より

[https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content\\_id=12](https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=12)



生殖補助医療法案に対し、**2**点要望します。  
当院で既に実施しており、他医療機関でも  
同様に実現が可能です。



要望Ⅰ

提供精子の医療を、  
人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

要望Ⅱ

生まれる子どもが、  
自分の出自に向き合える環境の整備

## 要望 I

提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

1 患者に過大な負荷をかけ、モラルが崩れつつある現状

2 非効率的なドナー精子活用の現状

3 要望 I のまとめ

## 要望 I

提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

1 患者に過大な負荷をかけ、モラルが崩れつつある現状

2 非効率的なドナー精子活用の現状

3 要望 I のまとめ

要望Ⅰ 提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

1 患者に過大な負荷をかけ、モラルが崩れつつある現状

配偶者間の不妊治療は、

人工授精で妊娠しないときは、体外受精に進みます。  
(妊娠率約5%\*) (妊娠率約35%\*)

\*妊娠率は個人差があります。

非配偶者間の不妊治療は、

人工授精(AID)で妊娠しない場合でも、体外受精に進むことは日本産科婦人科学会の会告で認められていません。

人工授精(AID)を何度も、20回、40回、60回と何年も繰り返すしことしか許されていないのです。

その結果、患者は提供精子の体外受精をするために海外に渡ったり、SNSでの精子取引にシフトしています。

## 要望 I

提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

1 患者に過大な負荷をかけ、モラルが崩れつつある現状

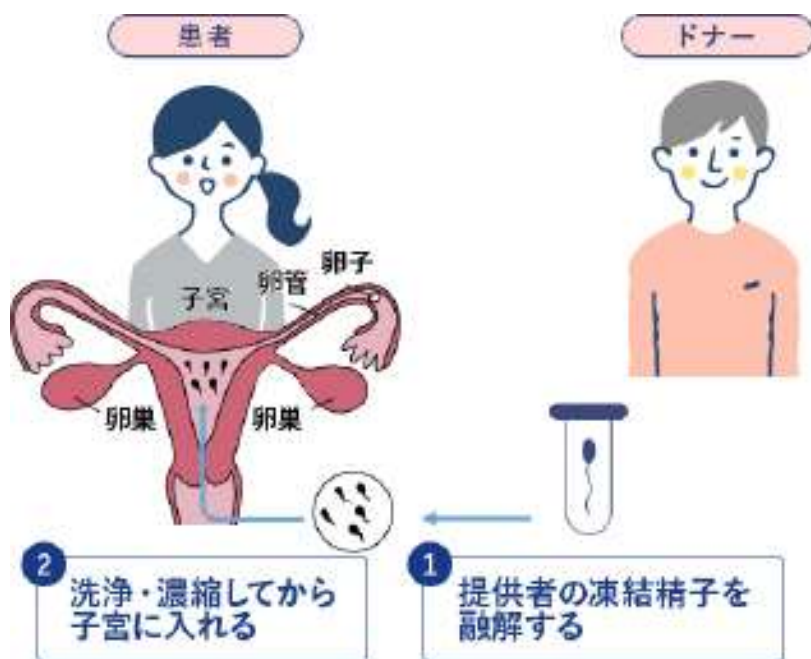
2 非効率的なドナー精子活用の現状

3 要望 I のまとめ

要望Ⅰ 提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

## 2 非効率的なドナー精子活用の現状

人工授精(AID)は非効率。体外受精なら効率的に活用できる



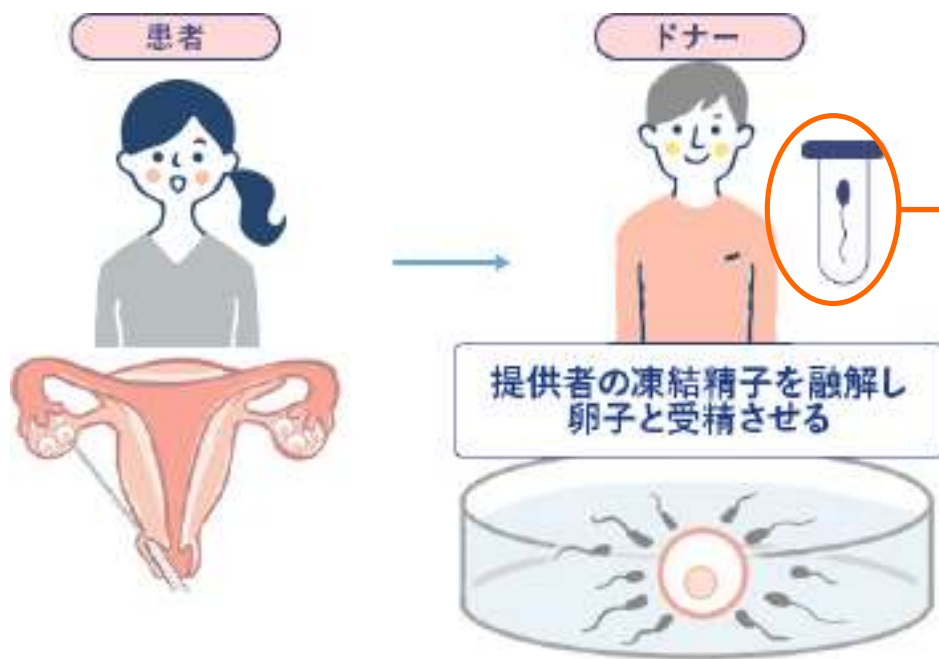
- 人工授精(AID)は、1回の治療で必要となる精子量が多いです。
- 1回の人工授精(AID)で、ドナーが提出した1回分の精子を全て消費してしまいます。
- 人工授精(AID)1回の妊娠率は約5%\*です。

\*妊娠率は個人差があります。

要望Ⅰ 提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

## 2 非効率的なドナー精子活用の現状

人工授精(AID)は非効率。体外受精なら効率的に活用できる



- 体外受精は、1回の治療で必要となる精子量が少ないです。
- ドナーが提出した1回分の精子を4本に分けられます。（受精方法は顕微授精）
- 胚移植1回の妊娠率は約35%\*です。

\*妊娠率は個人差があります。 12

## 要望 I

提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

1 患者に過大な負荷をかけ、モラルが崩れつつある現状

2 非効率的なドナー精子活用の現状

3 要望 I のまとめ

要望Ⅰ 提供精子の医療を、人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

### 3 要望Ⅰのまとめ

#### 要望Ⅰのまとめ

- 1 患者は、何度不成功でも人工授精(AID)を繰り返すしかない現状に、経済的にも精神的にも本当に限界です。患者に過度な負担をかけていることで、提供精子の医療のモラルが崩れはじめています。至急、体外受精を認めてください。
- 2 精子ドナーの活用の面でも、人工授精(AID)という方法は非効率的です。体外受精であれば、ドナー精子を4本にわけることができ効率的である上に、治療1回あたりの妊娠率は、人工授精(AID)に比べて非常に高くなります。



生殖補助医療法案に対し、2点要望します。



要望Ⅰ

提供精子の医療を、  
人工授精(AID)に限定せず体外受精も認める

要望Ⅱ

生まれる子どもが、  
自分の出自に向き合える環境の整備

## 要望Ⅱ

# 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

### 1 出自を知る権利について

### 2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ① 支援プログラム
- ② ドナーの匿名加工情報の伝達
- ③ 非匿名精子ドナーの必要性

### 3 非匿名精子ドナーの集め方

- ① 当院の実績
- ② 実績につながった理由

### 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

### 5 要望Ⅰのまとめ

## 要望Ⅱ

# 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

## 1 出自を知る権利について

## 2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ①支援プログラム
- ②ドナーの匿名加工情報の伝達
- ③非匿名精子ドナーの必要性

## 3 非匿名精子ドナーの集め方

- ①当院の実績
- ②実績につながった理由

## 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

## 5 要望Ⅰのまとめ

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

1 出自を知る権利について

## 子どもが、出自を知る権利は 2 つ

|      |                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------|
| 権利 ① | <u>自分がどのようにして生まれたのかを知る権利</u><br>↳ 夫婦から子どもに、提供精子で生まれたことを話す |
| 権利 ② | <u>自分の遺伝的ルーツを知る権利</u><br>↳ 非匿名に同意したドナー精子を使用               |

## 要望Ⅱ

# 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

1 出自を知る権利について

2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ① 支援プログラム
- ② ドナーの匿名加工情報の伝達
- ③ 非匿名精子ドナーの必要性

3 非匿名精子ドナーの集め方

- ① 当院の実績
- ② 実績につながった理由

4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

5 要望Ⅰのまとめ

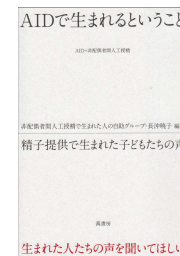
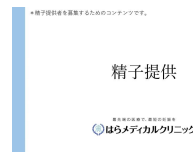
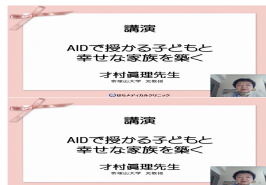
要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

### ①支援プログラム

## 【 当院における支援プログラム 】

#### 学習教材



#### セミナー

家族になることを一緒に考える会

当事者家族の会

#### カウンセリング

臨床心理士のカウンセリング

社会福祉士（児童福祉専門）の面談

全国どの医療機関で治療をした夫婦でも、子どもに告知ができるように  
国で支援プログラムを整備し、各医療機関に配布していただきたい

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

## ② ドナーの匿名加工情報の伝達



子どもがドナーはどのような人なのかを知る権利



精子ドナーが登録時に手書きで記入した匿名加工情報を活用

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

## ② ドナーの匿名加工情報の伝達

### 【 当院で使用している 匿名加工情報 】

#### 精子提供者の周辺情報表

身長・体重

体の特徴

人種的背景

精子提供者の周辺情報表

220622.

記入日：西暦 年 月 日

\*記入日は患者に開示しません。

- 精子提供者は、本紙に、現時点での正確な情報を記入してください。本紙の内容は、個人を特定するものではありません。
- 本紙の内容は、非配偶者間治療で妊娠した後の患者に開示します。その目的は、生まれる子どもが成長する中で精子提供者に興味を持つ時、患者（親）から子どもに、提供者がどのような人なのかを教えてあげること、子どもは、本医療や提供者の存在を肯定でき、一方で、提供者は親や家族とは違う、あくまでも助けてくれた存在であることを理解するために重要であるからです。

|       |                                                                                 |                    |    |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----|
| 身長    | cm                                                                              | 体重                 | kg |
| 体の特徴  | 例：耳が大きい、腕が長い、目が細い、体が柔らかい、毛が濃い、唇が厚い、声が大き<br>い、など、自分が思う特徴です。特徴が思い浮かばない場合は癖でもよいです。 |                    |    |
| 血液型   | RH :                                                                            |                    |    |
| 人種的背景 | あなたの親1の背景を教えてください。                                                              | あなたの親2の背景を教えてください。 |    |

## 要望Ⅱ

## ②ドナーの匿名加工情報の伝達

当院で使用している  
匿名加工情報

趣味

職業

## 精子を 提供する理由

|                       |                                                                                     |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 趣味 (好きなこと)            | 読書、音楽、映画鑑賞、旅行、料理、ゲーム、スポーツ、動物の世話、花栽培、DIY、読書、音楽、映画鑑賞、旅行、料理、ゲーム、スポーツ、動物の世話、花栽培、DIY     |
| 職業                    | 会社員、自営業、学生、主婦、無職、その他、会社員、自営業、学生、主婦、無職、その他、会社員、自営業、学生、主婦、無職、その他、会社員、自営業、学生、主婦、無職、その他 |
| 精子を提供して下さる理由を教えてください。 | 経済的な理由、社会的な理由、個人的な理由、その他、経済的な理由、社会的な理由、個人的な理由、その他、経済的な理由、社会的な理由、個人的な理由、その他          |

ご記入ありがとうございました。提供者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

◎はらメディカルクリニック

本院使用欄：診察券番号 ( )

記培-171：精子提供者の周辺情報表（1版2022年2月）

## 要望Ⅱ

生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

2

夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ✓ 夫婦が妊娠したあと、この匿名加工情報を開示します。
- ✓ 夫婦は子育ての中でドナー情報を子どもに伝えていくことができます。

子どもは、

- 提供者がどのような人なのかを小さな頃から感じることができます。
- 思春期までに、自分は、精子というモノから生まれてきたのではないことを理解できます。
- 望まれて、愛されるために生まれてきたことを知れます。



この情報は、子どもがアイデンティティを形成する上で重要です。

三院医科・診療所・検査センター

記培-171：精子提供者の周辺情報表（1版2022年2月）

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

### ③非匿名精子ドナーの必要性



18歳

18歳以上の子どもが、  
提供者は誰なのかを知ること



非匿名に同意した精子ドナーが必要

Q

非匿名で精子提供をする人がいるのか？

A

います！たくさん。

## 要望Ⅱ

# 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

### 1 出自を知る権利について

### 2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ①支援プログラム
- ②ドナーの匿名加工情報の伝達
- ③非匿名精子ドナーの必要性

### 3 非匿名精子ドナーの集め方

- ①当院の実績
- ②実績につながった理由

### 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

### 5 要望Ⅰのまとめ

## 要望Ⅱ

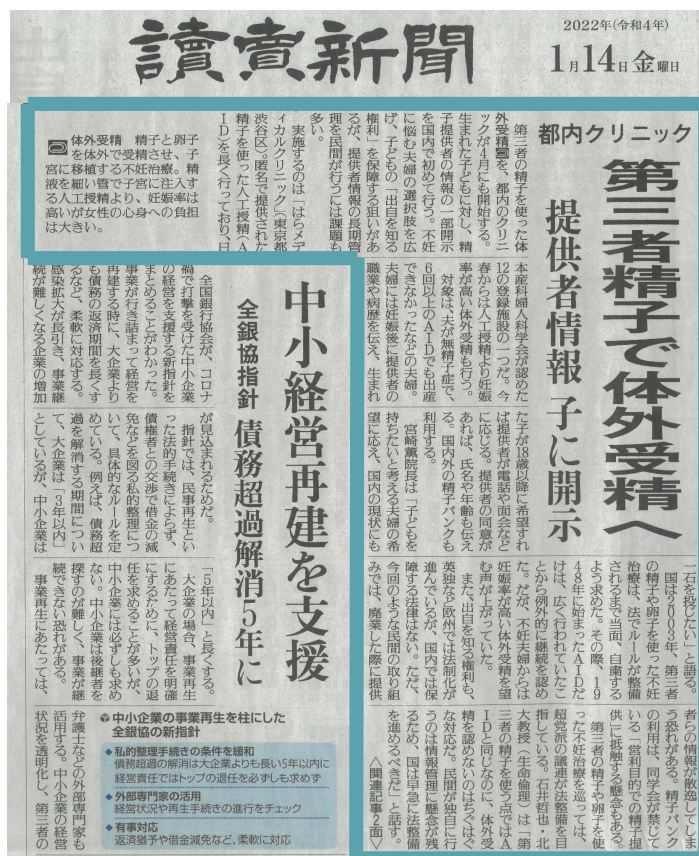
生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

3

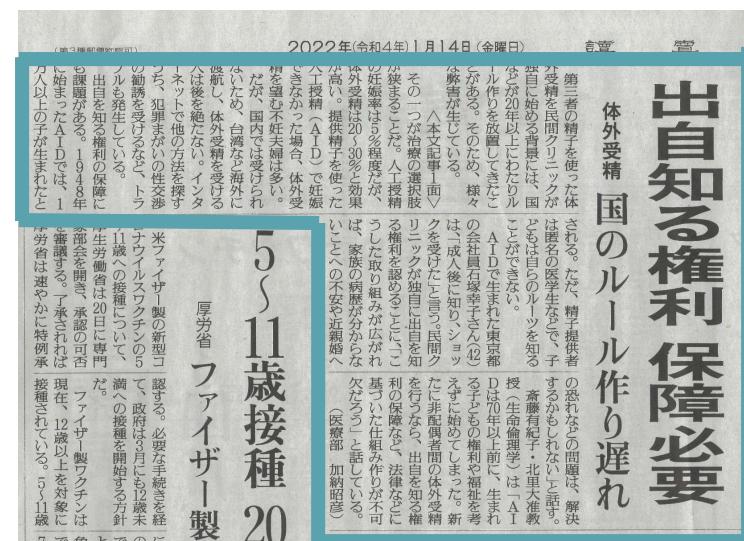
非匿名精子ドナーの集め方

### ①当院の実績

## 精子ドナーの非匿名登録を開始



## 精子ドナーの一般公募を開始



\*当院調べ

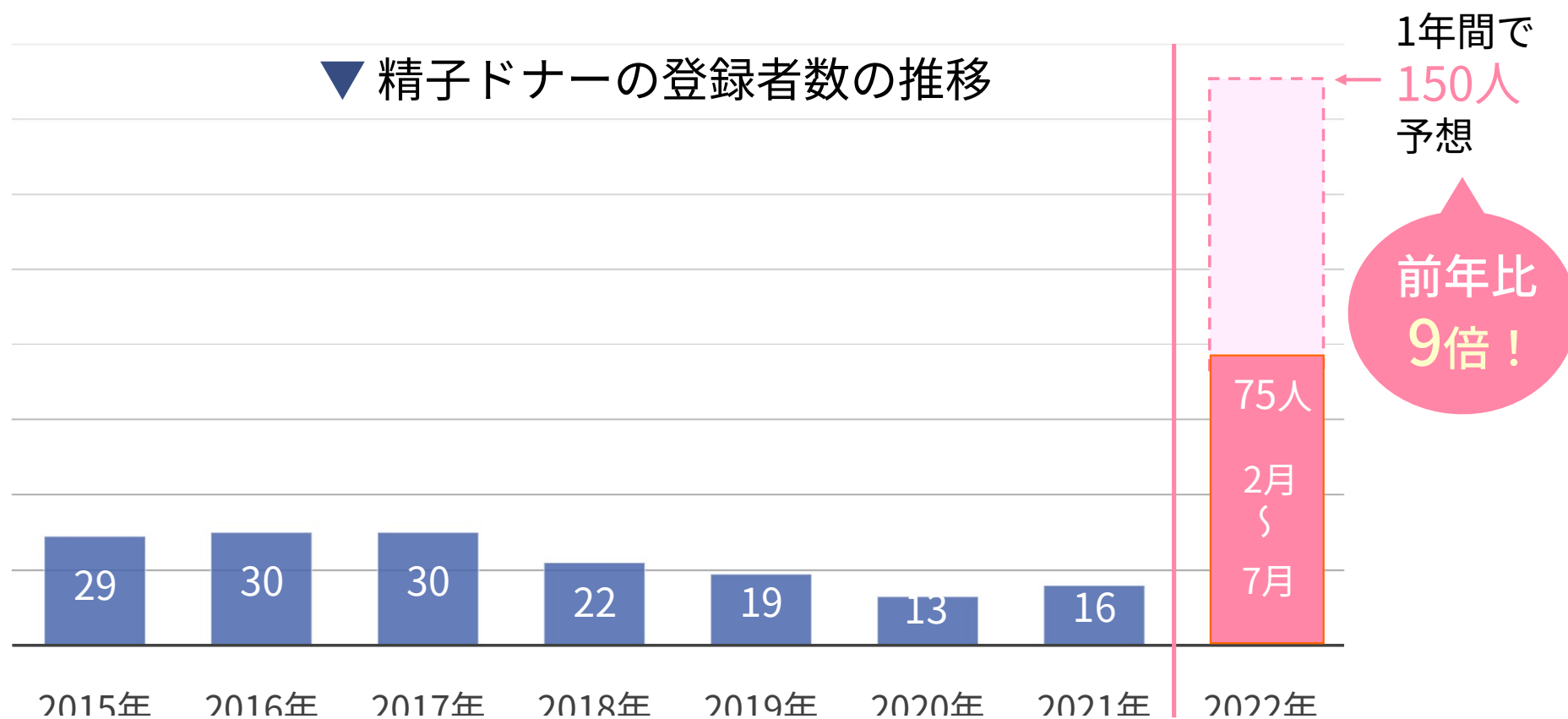
日本初\*となる、  
精子バンクを使用した  
非匿名の提供精子による  
体外受精を発表



要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

3 非匿名精子ドナーの集め方

### ① 当院の実績



要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

3 非匿名精子ドナーの集め方

### ① 当院の実績

#### ▼ 制度変更後の精子ドナーの登録状況

|         | ドナー<br>応募数 | 審査<br>合格数 | 最終<br>登録数* |
|---------|------------|-----------|------------|
| 2022年2月 | 22人        | 15人       | 15人        |
| 2022年3月 | 25人        | 18人       | 16人        |
| 2022年4月 | 15人        | 11人       | 10人        |
| 2022年5月 | 24人        | 18人       | 13人        |
| 2022年6月 | 23人        | 13人       | 10人        |
| 2022年7月 | 24人        | 14人       | 11人        |

| 非匿名<br>ドナー |     | 匿名<br>ドナー |     |
|------------|-----|-----------|-----|
| 12人        | 80% | 3人        | 20% |
| 12人        | 75% | 4人        | 25% |
| 5人         | 50% | 5人        | 50% |
| 10人        | 77% | 3人        | 23% |
| 7人         | 70% | 3人        | 30% |
| 8人         | 73% | 3人        | 27% |

非匿名ドナーが全体の71%

なんと、ドナーは非匿名を希望する人の方が多いのです！



要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

3 非匿名精子ドナーの集め方

### ① 当院の実績

1 クリニックだけでも、  
これだけ多くの精子を  
集めることができます。



|          | 非匿名<br>精子数 | 匿名<br>精子数 |
|----------|------------|-----------|
| 2022年2月  | 21 本       | 0 本       |
| 2022年3月  | 196 本      | 14 本      |
| 2022年4月  | 189 本      | 28 本      |
| 2022年5月  | 124 本      | 34 本      |
| 2022年6月  | 124 本      | 46 本      |
| 2022年7月  | 147本       | 48本       |
| 6 ヲ月間の合計 | 801本       | 170本      |

なぜ？

1年間で、1,942本の精子を集められる見込みです。

＊参考：2020年に日本でAIDをした夫婦は569組

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

3 非匿名精子ドナーの集め方

②実績につながった理由

## ドナーの7割が非匿名の理由

その1

【 ドナーに、現状の問題について説明し、お願いしたから 】

### 助けたいモチベーション

- 100人に1人が無精子症である
- ドナーが足りないこと
- 子どもの出自を知る権利を守りたいこと

### 理解による安心感

- 子どもとの法的親子関係はないこと
- ドナーの条件
- 精子を提供するリスクを具体的に説明

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

3 非匿名精子ドナーの集め方

②実績につながった理由

## ドナーの7割が非匿名の理由

その2

【 精子ドナーの権利も大切にできる仕組みにしたから 】

精子ドナーの不安

ある日突然、目の前に子どもが現れるのではないか…  
自分の名前がSNSなどでさらされるのではないか…

そのようなことが起こらない、  
ドナーの権利や生活を守れる仕組みにしました。

②実績につながった理由

## ドナーの人数が9倍に増えた理由



【 紹介制度を廃止し、一般公募にしたから 】

↳ ホームページの精子提供募集のページは、月60,000PV

【 医学生限定を廃止し、20歳から39歳の健康な男性にしたから 】

↳ ドナーが医学生である必要はありません。

ドナーが精子を提供する理由は、  
「困っている人を助けたいから」が多い（以下、実際の回答です）

- 自分が何か行動することで、誰かの悩みや苦しみを少しでも良い方向へ変化させることができるならと考えたためです。また、現在の私自身が生きていくにあたり、知らず知らずのうちに誰かから恩を受けているとも思います。それゆえに私としても恩を返していけたらと思い、今回提供させていただきます。
- 人に恨まれる人生より、人に感謝される人生を送りたいから。また、自分の遺伝子を残したかったから。
- 少しでも不妊に悩む方々の力になりたいと思ったからです。貴院の特集記事にて不妊治療の経済的&時間的負担の大きさ、中には海外にまで足を運ぶ方がいる現状を始めて知りました。こうした方々への尽力と共に、新に始まる非匿名での精子提供によって、生まれてくる子どものアイデンティティ確立に少しでも貢献できれば幸いです。
- 初めは、軽い気持ちで調べてみましたが、思ったより沢山の人が困っていることを知り、少しでも多くの人の助けになればと思い精子提供を希望しました。
- 私がもし精子提供を受ける立場であったときに、精子が病院に余裕をもって保管されていてほしいため。また、子どもは誰の精（卵）子から生まれたかよりも、愛を注いでくれる人がいるかどうかが重要であると考えするため。
- 不妊に苦しむ夫婦を助けたいと考えたかたらずです。約1%の日本人男性が無精子症と言われると知ったときに、衝撃を受けました。子どもは夫婦にとって宝とも言えます。そのような1%の夫婦に少しでも希望を与えることができたならと考えています。
- 大学のゼミ（医事法）にて、精子提供による生殖補助医療について知り、自分も役に立てればと思ったため。
- 私の父も昔、不妊治療をしていた過去があり、その当時の話は聞いていたので、自分自身も父のような人を助けたいと思いました。
- 献血同様に、自らの身体が役立てられるため。説明を聞いて、カウンセリングなどのサポートもあるため。
- 精子提供が、私が社会に対して恩返しできる手段の大きなひとつであるからです。両親をはじめとして、社会の多くの人々に支えられて今の私があります。繋いでもらった思いを、私も未来に繋げていきたいと考え、精子提供をする決意をしました。
- 私が不妊治療で苦労していたので一助になれば良いなと思いました。
- LGBTの方と関わる事が多く、そういった方に対して少しでも力になりたいと思ったのがきっかけで当院を知りました。今では、LGBT問わず、子どもを望む方たちに何かできたらと思っております。
- もし自分が男性不妊と診断されたらと思うと悲しみと絶望感に襲われると思います。そんな中、自分が男性不妊に悩む方の力になれるのならばと思い、精子提供をしようと決めました。

## 要望Ⅱ

# 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

### 1 出自を知る権利について

### 2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ①支援プログラム
- ②ドナーの匿名加工情報の伝達
- ③非匿名精子ドナーの必要性

### 3 非匿名精子ドナーの集め方

- ①当院の実績
- ②実績につながった理由

### 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

### 5 要望Ⅰのまとめ

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

#### 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

##### 問題点①

ドナーは、精子を提供する時点では、匿名か、非匿名かを決めなくてよい

##### 問題点②

子どもが18歳以上になりドナーが誰なのか知りたい時になってから、ドナーは情報を開示するかどうかを判断すればよい

出自を知る権利が保障されていない上に、  
子どもの出自がわかるかどうかという重要なことを  
18年後まで先送りすることは、罪深い結果を招きます。



要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

#### 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

夫婦は、匿名か非匿名かすらわからない精子を使用することで、子どもに対して自信が持てず、告知が進まない。

夫婦は、子どもからドナーについて聞かれた時には、「18歳になったらきっとわかるよ」と安易に期待の言葉をかけてしまう。

18年間その日を待ち続けた子ども達は、提供者のその時の気持ち次第で、出自を知れる子と知れない子がでてしまう。

出自を知れなかった子は、  
その現実を受け入れることができるのでしょうか？



## 要望Ⅱ

# 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

### 1 出自を知る権利について

### 2 夫婦が子どもに告知するための環境の整備

- ①支援プログラム
- ②ドナーの匿名加工情報の伝達
- ③非匿名精子ドナーの必要性

### 3 非匿名精子ドナーの集め方

- ①当院の実績
- ②実績につながった理由

### 4 生殖補助医療法案3月骨子案の問題点

### 5 要望Ⅱのまとめ

要望Ⅱ 生まれる子どもが、自分の出自に向き合える環境の整備

## 5 要望Ⅱのまとめ

### 要望Ⅱのまとめ

- 1 全国どの医療機関で治療をした夫婦でも、子どもに告知ができるように国が支援プログラムを整備し、各医療機関に配布してほしい (20枚目)
- 2 妊娠後の夫婦に、ドナーの匿名加工情報を開示できるようにしてほしい (21 - 24枚目)
- 3 出自を知る権利を保障するために、精子ドナーは非匿名を前提にしてほしい (25 - 34枚目)
- 4 もし、匿名ドナーも対象にする場合、夫婦が治療を開始する時点でドナーが匿名なのか非匿名なのかを明確にできる制度にほしい (37枚目の問題点の解決のため)

問題の先送りでは、嘘のない信頼関係のある家族形成が困難になります。

ご視聴ありがとうございました。

本内容に関するお問い合わせは、  
はらメディカルクリニックまでご連絡ください。

はらメディカルクリニック  
03-3356-4211  
info@haramedical.or.jp

